

2023年2月15日

## 2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 オトDAN☆Tokyo

代表者 氏名 嶋田優子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

楽しむことをあきらめていた人に音楽とダンスを届けたい！

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

ミュージシャンであり、これまで障害児のピアノ講師や保育園・デイサービスなどでリミックや音楽活動をしてきた YUKO と、ダンサーでありステージに立ちながら長年キッズダンスの指導をしてきた YUKA が、自身の子供の保育園のママ友として出会ったことがきっかけです。ほんの立ち話から仕事の話をする中で、非日常の経験が日常を生き生きとしたものにするはずだという芸術に対する考え方、一遍通りのレッスンでなく、個々に合わせた指導をしたいという生徒との関り方や、障害があってもなくてもどんなひとでも音楽やダンスを楽しめる場を作りたいという思いが同じだったことで共感し、それがオトダンという団体設立への一歩となりました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ダンススクールに通いたいけれど、障害があることで一歩を踏み出せなかったり、チャレンジしたけれど集団になじめずに諦めてしまっている人たちのストレス発散や非日常のドキドキを味わってもらう場として、安心して参加できる音楽とダンスのサークルを運営することが目的です。多種多様なメンバーひとりひとりの個性を受け入れ、伸ばし、それぞれが輝いて表現する場を作りたいと思いました。これまでダンスレッスンの講師として活動する中で、障害のある子が入会しても長続きしない事例が数多くありました。そのほとんどが、本人は楽しくて続けたいのに、周囲に迷惑をかけてしまうかもしれないという親の意向だったり、他の子とペースが合わなくて難しくなるケースでした。周りと合わせるのではなく本人に合った伸ばし方をする場、思い切り個性を出せる場が必要だと感じ続けていました。また、コロナ禍においてレジャーの機会も少なく、ストレスをためがちな家族も多いため、よりいっそう楽しめる場の必要性を強く感じました。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

オトダンのプログラムは主に次のような流れで1回90分程度で行われます。

- ① いつダン…いつものダンス。ストレッチや体ほぐしの後にパプリカやチキチキバンバンなど参加者に人気のあるダンスをウォーミングアップ的に行います。
- ② コラボ…各回のメインコンテンツであり、季節ごとのテーマや旬な事柄を取り入れ、ピアノの生演奏に合わせて様々な身体表現を参加者から引き出していきます。絵本の読み聞かせとコラボしたり、楽器を使ったり、トレーニング用具を使ったりしながら行います。ピアノや楽器の生演奏で行うため個人に合わせたペースや雰囲気音楽と身体の一部感を味わってもらうことができます。各回のテーマは4月新生活応援ソング、5月輪をテーマにしたコンテンポラリーダンス、6月海をテーマに元気なダンス、7月ミラーボールでディスコ空間を再現

し宇宙をテーマにディスコダンス、8月ディズニーで参加型ショーやテーマパークダンス、9月昭和ポップスで親子で楽しむ企画、10月ヒップホップ調の読み聞かせライブ、11月フルート生演奏とコンテンポラリーダンスで芸術の秋を楽しむ企画、12月クリスマスソング、1月パラバルーンと音楽とダンスで絵本の世界を旅する企画でした。様々なアーティストの協力を得て、非常に充実して参加者もスタッフも満足度が高い内容となりました。

- ③ 鑑賞タイム…プロダンサーによるショータイム。ジャズやヒップホップ、ラテンやモダンバレエなどバラエティに富んだステージを生で見ることで感性を揺さぶります。劇場に足を運び本物に触れることは敷居が高くなかなかできないため、オトダンの中でプロのステージを見る機会を提供しています。
- ④ チャレンジタイム…鑑賞したダンスの一部を実際に体験してみるコーナーです。家族一緒にステップを覚えたり、そのままフリーダンスでセッションしたり、その場の雰囲気講師がコントロールしつつ参加者主体になるよう進めるため何が起ころか誰にも予想がつかないワクワクする時間となります。
- ⑤ リクエストタイム…参加者自身が選んできた曲を流し、自由に表現するショータイムで、発表の場になったり輪になって踊ったり、毎回予想がつかない刺激的な展開となります。

#### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

前年度の実施回数は月1回でしたが、今年度は月4回の開催を達成することができました。参加者数は付き添いの家族や事業所職員、ボランティア含め、前年度延べ175名から、今年度延べ470名となりました。

成果としては、助成金を受けたことで、ダンサーやミュージシャンなど、プロのアーティストを外から招いたWSができたため、クオリティの高い内容となったことにより、参加者の心身の成長が著しく、スタッフのモチベーションも上がり相乗効果で団体のパワーが増した点が挙げられます。また、知名度が高まったことにより、地域の方からお声がけいいただいてコラボイベントを開催できたり、地域のシンポジウムのパネリストや座談会のファシリテーターとして招かれる機会もいただき、新たなつながりが自然に生まれていきました。に

オトダンのプログラム内容が充実したことにより、地域でも応援してくださる方が増え、地域のダンススクールに通う子どもたちが積極的にボランティア参加してくれたり、お手伝いをしたいと言ってくれる方が出てくるだけでなく、インスタグラムを見てオトダンの楽しそうなので参加してみたい、と障害のない人からも言ってもらえるようになって、障害があってもなくても、関わろう、一緒になって楽しもうという気持ちになってくれたことが大きな変化です。障害者が思い切り楽しめるようにと思って細々と始めた活動でしたが、スタッフにも参加者にも、とてもポジティブなエネルギーをもたらしてくれた、実りのある1年でした。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

参加する方たちの特性を考えると、ただ参加人数を増やせばいいというものではないので、今後もそれぞれの個性を大切にしていけるよう少人数制できめ細やかなプロジェクトを継続していき、回数や開催場所を増やすことでオトダンの輪を広げていきたいです。市内の小中学校の支援学級などへの周知があまり進んでいないため、学校へのチラシ配布などを進めていきたいです。学校側の許可が出れば、学校訪問ライブを実施したいです。また、もともと古かったピアノが1月に壊れて音楽活動に支障をきたしているため、来年度に新調します。来年度は、今年度新たにできた地域とのつながりをうまく生かし、またアーティストや理学療法士の方たちともコラボして、他では絶対にできない「オトダンブランド」として確立させていきます。

#### 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





真如苑助成事業

ダンスや音楽は大好きだけど  
一般のダンススクールに通いづらい方のための

## ダンス&ミュージックサークル

# オトDAN☆Tokyo

オトダントーキョー



発達障害やダウン症その他の障害があったり、  
車椅子の方や、とてもシャイでみんなと同じこ  
とをするレッスンの雰囲気苦手でも大丈夫！  
大人も子どもも大歓迎！「たくさん動きたい」  
「みんなを見ているのが好き」など、それぞれの  
個性や楽しみ方を大切にします

活動スケジュールや過去のレッスン動画は  
インスタグラム@otodan.tokyoでご覧いただけ  
ます。

公式LINEに登録すると最新情報などをお知らせ  
します。



### お問い合わせ

公式LINEやインスタグラムのDMからの  
お問い合わせがスムーズです。

電話090-7017-3932(シマダ)